



# 東京岩高会会報

第60号  
平成30年7月21日

## 総会開催案内

年に一度の大結集  
上野の丘に岩高家族の  
笑顔の花を咲かせよう

第62回 東京岩高会総会

平成30年11月24日(土曜日)  
午前11時開会(上野公園グリーンパーク)

詳細は2ページに掲載

栗駒渡丸(旧宝来小学校付近)の棚田  
(写真:土井 祐之 S54年卒)

東京岩高会会報

2018年  
第60号

平成30年7月21日 発行

発行人

宮城県岩ヶ崎高等学校同窓会東京支部東京岩高会 TEL 090-5339-1814  
〒192-0023 東京都八王子市久保山町1-9-99 支部長 長沼和秋  
(有第一コミュニケーション・印刷)

## 東京岩高会の活動



役員会 編集会議(H29.6)



築高東京支部総会 出席(H29.7)



暑気払い(H29.7)



会報発送作業(H29.7)



本部総会 合唱部への活動費支援(H29.8)



本部総会での活動報告(H29.8)



旧体育館 見学(H29.8)



本校訪問(H29.8)



「岩高」の寺ではありません(巣鴨の「とげぬき地蔵尊」高岩寺)



くりこま高原ファーム 大塚駅フェアへ訪問(H29.10)



新年会(H30.1)



築高関係者との懇親会(H30.2)





# 第62回 東京岩高会 総会 開催案内

## 1. 第62回 東京岩高会 総会のご案内

平素より、当会の活動に対しまして、ご理解・ご協力を頂きまして御礼申し上げます。これも諸先輩方・関係の皆様方のお支えがあつてのことと存じます。改めて御礼申し上げます。

さて、今年の総会は下記のとおり開催致します。特別プログラムでは、菅原広巳さん(55年卒 岩ヶ崎出身)によるカントリーブルースの演奏を予定しておりますので、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

- (1) と き：平成30年11月24日(土) 11:00～15:00
- (2) と こ ろ：「グリーンパーク」  
東京都台東区上野公園1-59(上野公園西郷銅像横)  
Tel 03-3828-5571
- (3) 会 費：男性:7,000円 女性:6,000円  
※学生で初めて参加される方はご招待(無料)、2回目以降は2,000円
- (4) 出欠連絡：9月30日までにご連絡を頂きますようお願い致します。  
※出欠の変更はその後でも受付けますので、下記または関係役員までご連絡下さい。  
支部長：長沼 和秋 090-5339-8141  
幹事長：高橋 聖 080-5034-0179
- (5) 還暦の会：今年は52年卒が対象であり、当日は当会よりお祝いを進呈いたします。  
お誘い合わせの上お越し下さいますようご案内申し上げます。

## 2. 東京岩高会 年会費ご協力のお願い

皆様方から頂いた貴重な年会費が活動の支えになっております。昨年は130名の皆様方から浄財を賜りまして、真に有難うございます。

本年も引き続き倍旧のご協力の程、宜しくお願い致します。

- (1) 年 会 費：3,000円
- (2) 振込期限：総会開催前の10月31日までに同封の郵便振替用紙により最寄りの郵便局で振込みをお願いします。なお、お振込みにあたっては、ATMをご利用頂くと手数料が軽減されます。

東京岩高会 支部長 長沼和秋  
幹事一同



菅原広巳  
(55年卒 岩ヶ崎出身)  
キングレコードより5月23日リリース



「3つの柱にあるもの」



長沼 和秋  
同窓会  
東京支部長  
(就任H.28/11～)  
S.53年卒  
鷺沢出身

東京支部長を務め2年になりました。私のベースになっているのが、「同窓会」「マラソン」「ネパール」です。

「同窓会」は、昭和53年(1978年)に上京しS.26年卒の小野寺喜美夫先輩、伊藤七郎先輩、栗原孝允先輩(昨年2月ご逝去)に迎えて頂いた歓迎会からですので、東京岩高会との関係も40年になります。恐らく、総会等の出席回数は、現在の役員の中では一番ではないかと思えます。このことから、多くの先輩方と知り合うことができ、弁護士の鎌田正聰先輩(S.35年卒)とは、当時支部長を務められていたことから、とても懇意にして頂き、事務所に夕方伺いよく晩御飯をご馳走になり、今でも会へ



東京マラソンの応援を受ける  
後列 中央:議員秘書を務めた菅原由美子先輩、右:中学教諭から29才で弁護士になった鎌田正聰先輩、前列 左:迫桜高東京支部阿部武寿さん、右:都内名門幼稚園で教諭を務めた佐々木くに子先輩

のサポートだけでなく、法律の相談もさせて頂いたりしています。また、在京の「東京鷺沢会」「東京栗駒会」そして「迫桜高校東京支部」「築館高校東京支部」「一迫商業高校東京支部」の方々とも知り合うことができ、今ではふるさとを語り合い、時にはプライベートなお話もできる関係にもなっています。

「マラソン」は高校時代陸上部だったことから、時間があれば走る事が今でも続いており、年に数回大会に出場しています。今年の2月に行

われた東京マラソン、幸運にもこれまで6回走ることができ、今回の記録は3時間35分16秒、自分の思った走りができました。レースの途中、15キロ付近の浅草では、東京岩高会の鎌田正聰先輩、佐々木くに子先輩(顧問)、菅原由美子先輩(支部長)の声援をいただきました。今年も迫桜高校東京支部の阿部武寿先輩(事務局長)の声援を受け、後半の38キロ付近では同級生の安田文江さんから「長沼くん頑張つて!」と背中を押してくれて、11回目のフルマラソンを完走することが出来ました。



同窓会入会式 上京生徒顔合わせ式(H30.2)

「ネパール」は、24歳の時に青年海外協力隊でネパールにマラソン指導で参加したことがきっかけとなり、今でも現地との交流があります。今年の10月には3回目となるカトマンズマラソン出場を予定しており、2年後の東京オリンピックになんかのサポートができないか等、話をし

てこうと思っています。これからも、皆様方に喜んで頂け



栗原ハーフマラソン  
(H29.11.12)



## 母校存続の危機感を 同窓生が共有



**葛岡 重利**  
岩高同窓会会長  
(就任H.25/8～)  
S.41年卒  
鷺沢出身  
旧鷺沢町長

平成29年度の同窓会入会式を鷺沢校舎体育館で2月28日に執り行い、最後の卒業生となる鷺沢校舎創造工学科の卒業生26名を含む106名を同窓会員として迎えることができました。今回も東京支部から長沼支部長にはわざわざご出席を頂き、東京岩高会の活動状況を含め歓迎のご挨拶を頂きました。

終了後には、昨年に引き続き東京方面に移られる新卒者との懇談の場を持たれました。若い世代の積極的な参加の呼び水になり、東京支部に集う同窓の輪が広がってほしいと願っております。

当日は、引き続き創造工学科の開科式が行われ、卒業生を受け入れてくれた地元企業や行政機関、鷺沢地区の行政区長さんたちが来賓として出席され、校舎との別れを惜しましました。平成21年4月、鷺沢工業高校から引き継ぎ創造工学科として7学

年の生徒が工業技術の分野で学業を修められました。しかし、宮城県教育委員会の方針には逆らえず、わずか9年間で閉科となりました。

鷺沢校舎は、昭和38年鷺沢分校として開校以来、鷺沢工業高校、岩ヶ崎高校創造工学科として受け継がれてきました。55年間の歴史の経過を見てきた一人として誠に残念でなりません。

母校を取り巻く環境も一段と厳しさを増しております。

市内の中学校卒業者数も減少傾向にあり、今年の新入生徒数も53名と募集定員120人の半分に満たない状況になっております。

県教委が示す「高校再編基準」を見据え、昨年7月には、PTAと共に栗原市長と栗原市教育長に対し、併設型中高一貫校の検討を要望しました。実現のためには、宮城県教育委員会との調整協議が前提となり容易なことではありません。

生徒数の確保に向けた学校経営が求められる一方、我々同窓会としても母校の存続のために、PTAや地域の方々とも連携して取り組まなければならない大きな課題であります。

まずは同窓生の皆さんと危機感を共有し、存続に向けた取り組みを一

層強くしなければならぬと考えております。

以上、母校の状況を申し上げます。また、東京支部の皆さんには先輩方が築いて来られた献身的な活動をしつかり受け継ぎ、さらには年々進化する会報発行を通じて仲間の絆が一層深まっていることを強く感じております。

東京支部の益々の発展と皆さんのご活躍お祈り申し上げます。



同窓会入会式(2月28日)

## 仙台支部の活性化に向けて



**高橋 清志**  
同窓会  
仙台支部長  
(就任H.25/4～)  
S.44年卒  
岩ヶ崎出身

私は、仙山線の東北福祉大前駅から仙台駅まで、仙台駅で東北本線に乗り換えて、柴田町の船岡駅まで、日々、電車通勤をしております。

電車に乗っている時間は、6時50分から8時までで、この時間帯は、サラリーマン、OLのほか高校生や大学生も数多く乗り合わせます。

4月に入りますと、例年そうですが、乗り合わせする人の顔ぶれが随分と変わり、新たに社会人或いは大学生になられたと思われる人も数多く見受けられます。

この春、岩ヶ崎高校を卒業された皆さんも、故郷を離れ、それぞれの地域で、私が利用する電車に乗り合わせる新入社員や学生のように、希望に満ちた初々しい姿で社会人生活や学生生活を送られていると思います。

50年前になりますが私も、岩ヶ崎高校を卒業し、親もとを離れ、宮城県庁に勤務しましたが、当時を振り返りますと、18歳という年齢で、よく社会人

生活を送ることができたなあと、自分のことながら感慨深いものがあります。

東京岩高会の皆さんは、故郷から遠く離れた東京の地に、強い思いで、就職或いは進学されたことと思います。が、それ故に、一層、その当時のことが懐かしく思いだされるのではないのでしょうか。

学生生活或いは社会人生活と新たな環境に進まれた卒業生の皆さんに、同窓生として、また、先輩として、会うこともできず励ます術はありませんが、心から今後の活躍を願いたいと思います。

さて、同窓会仙台支部の昨年の総会ですが、昭和40年卒業の伊藤惣二先輩の奥様で筆・十七絃演奏家の伊藤雅楽迪さんに、十七絃の書、スペイン風即興曲第二章ほかの演奏をいただくなど、参加者一同楽しいひと時を過ごすことができました。

とは言え、仙台支部は、参加者が少ないことや高齢化が進んでいるとの課題を抱えております。なかなか妙案は思いつかないのですが、仙台支部会員相互に知恵を出し合い、活性化に向けて何等かの手を打たなければならぬと考えております。

是非、本部並びに東京岩高会の皆さん



んのお力添えをいただきますようお願いいたします。終わりに、東京岩高会のますますの発展と会員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

## 目次

### 東京岩高会総会開催案内

#### 【1】挨拶

- 宮城県岩ヶ崎高等学校同窓会
- 東京支部長 長沼和秋 ③
- 同窓会会長 葛岡重利 ④
- 仙台支部長 高橋清志 ⑤
- 宮城県岩ヶ崎高等学校
- 学校長 吉田玲子 ⑥
- 本校近況
- 事務局長 佐藤幸三 ⑦

- 生徒代表 後藤瑠羽 ⑧
- 活動写真 ⑧

#### 【総会報告】

- 第61回 東京岩高会総会
- 開催報告 ⑩
- 総会写真 ⑪
- 年会費ご協力者・収支 ⑬

#### 【会員の窓】

岡崎智徳さんを偲んで

杉利雄 ⑬

千葉宏・妙子 ⑬

佐々木くに子 ⑬

佐藤貢 ⑬

小野好延 ⑬

芳賀康雄 ⑬

吉野玲子 ⑬

お花見と称して

鷺沢校舎ありがとう！

古在国立天文台長さんが来た話

伊藤芳春 ⑮

「栗駒山の里便り」ワールド

「山の駅くりこま」開業

4校会クリスマスパーティー

長沼和秋 ⑮

岩高繋がり広場

【東京岩高会の活動】 ⑮



## 「岩ヶ崎高校の今」



吉田 玲子  
第25代学校長  
(赴任H.28/4～)

同窓生の皆様には、ますますすぐ清栄のこととお喜び申し上げます。また、支部長様をはじめ、東京岩高会の皆様には、常日頃から本校の教育活動にご理解を賜り、ご支援、ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さらに、平成29年度卒業生に対して昨年同様支部長様のご配慮をいただき、関東方面に進学・就職する卒業生の歓迎会を開催していただきました。卒業生にとって大変心強い応援をいただいたものと思います。2月の同窓会入会式に際しまして、東京同窓会伊藤末治郎様から御著書「なせばなる」を卒業生一人ひとりにお贈りいただきました。本当に感謝申し上げます。

さて、平成29年度（平成30年）の同窓会入会式と卒業式は、鷺沢校舎の体育館で実施されました。岩ヶ崎校舎の体育館が大規模改修で、解体されているためです。昭和43年から岩高生を見守り続けた体育館ですが、蒲鉾形の屋根

も半分がなくなり、日に日に姿を変えています。もうすぐ解体が終わろうとしています。その後、建築となりますが、昨年度もお伝えいたしましたとおり、新体育館の完成は、平成31年2月の予定です。平成30年度の卒業式は新しい体育館で挙げる予定です。

また、昨年度の入会式後、鷺沢校舎の閉科式が行われました。創造工学科として9年、その前身の鷺沢工業高校として43年間の永きにわたり、栗原の工業教育を支えてきました鷺沢校舎が閉科いたしました。閉科式には、栗原市をはじめとして地域の方々、インターシップや卒業生の就職でお世話になった企業の方々、同窓会や旧職員の先生方、近隣の小・中・高校の校長先生



センター試験激励会

方等約60数名の来賓のご臨席を賜りました。県教育委員会からは、教育長代理として教育次長清元恵子先生に來校していただき、ご挨拶を賜りました。当日は、雪の多かった今年の冬を象徴するような、そして閉科を悲しむなごり雪というべく大雪の日でありました。最後の創造工学科の生徒達が式に先立ち、今までの鷺沢校舎の歴史と活動を発表し、好評を博しました。大変心に残る閉科式となりました。

そして、本年度は4月7日に入学生53名を迎え、教育活動がスタートいたしました。1年生も1ヶ月たち、ようやく岩ヶ崎高校の生活にも慣れてきたように感じます。支部総体も間近に迫り、どの部活も一生懸命に活動し、

岩ヶ崎高校の名を高めてくれることと期待しております。

さらに、平成29年度の卒業生は進路実績において、大きく羽ばたいてくれました。東北大学に合格した生徒をはじめとして、国公立大学10名、私立大学75名、専門学校15名、私立短期大学8名、高等看護学校16名、公務員

## 本校近況



佐藤 幸三  
同窓会本部  
事務局長

東京岩高会の皆様、日ごろより本校の教育活動にご支援をいただき、ありがとうございます。本校の近況についてお知らせします。

3月1日に第70回卒業式が行われ、普通科80名、創造工学科26名の生徒たちが学び舎を巣立って行きました。今年度は体育館改修中のため、鷺沢校舎での実施を余儀なくされました。使い慣れていない場所にもかかわらず、先生方の事前の周到な準備や鷺沢校舎の先生方のご協力もあり、例年と変わらない立派な卒業式になりました。

前日は、鷺沢校舎で宮城県教育委員会、栗原市教育委員会など60名あまりの方々のご来賓を迎え、創造工学科閉科式が盛大に行われました。式に先立って、鷺沢校舎の移り変わりをまとめたプレゼンテーションが生徒たちの手で披露されました。県教育長挨拶、校長挨拶に続いて、生徒会長の星大樹君がこれまで鷺沢校舎

を支えて下さった方々への感謝の思いを述べました。

3月28日には退任式・離任式が行われ、伊藤直美副校長先生はじめ鷺沢校舎の全先生方、教務部長の武田雅彦先生、堀内亮平先生など23名の先生方を送り出しました。

4月7日に新任式が行われ、本校OBの三浦晃事務室長や吉澤和宏先生、新任の遠藤健太先生など14名の先生方をお迎えしました。また、午後からは入学式が行われ、普通科53名の生徒が校長先生から入学を許可されました。

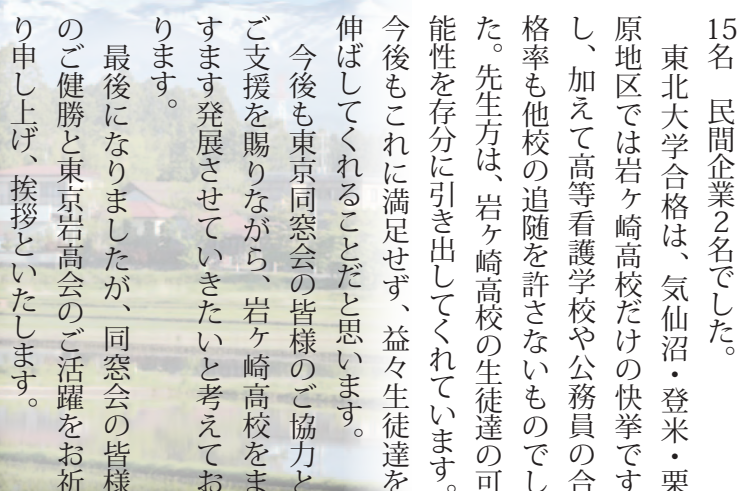
昨年度始めからの本校における印象的な出来事を振り返ってみますと、何と言っても旧体育館、新体育館の解体があげられます。解体は当初の予定から遅れて12月末に始まりました。体育の授業は、岩ヶ崎校舎から約6キロ離れた鷺沢校舎の体育館にバスで移動して行われています。また、バレー部、バスケット部、卓球部等の部活動は曜日によって栗駒体育館と鷺沢校舎体育館を使い分けて実施しています。授業にしろ部活動にしろ、移動時間がかかり活動できる時間が限られることが悩みの種になっています。

部活動においては、秋の新人大会

における野球部のめざましい活躍ぶりがあげられます。北部地区大会では強豪古川工業を5-4で破りベスト4、県新人大会では多賀城を12-2、東北学院を6-3で破りベスト8に入りました。準々決勝では仙台育英に敗れたものの大健闘でした。

8月5日に同窓会総会が市内のベルディ栗駒で開催されました。今年は昭和63年卒業の幹事の皆さんが中心になり、懇親会も含めて盛大に行われました。約90名の同窓生が集まり、恩師も交えて、世代を超えて高校時代を懐かしみました。合唱部のアトラクションでは、鷺沢工業高校の校歌も披露されました。懇親会前には『旧体育館の歴史的価値』と題して、東北工業大学の中村琢巳先生の講演が行われました。

取り留めのない内容になりましたが、昨年度から4月上旬までの本校における印象的な出来事をご紹介しました。今年は桜の開花が早く、入学式が終わってから、あれよあれよという間に散ってしまいました。この分だと、春もあっという間に過ぎてしまいそうです。今後とも、よろしく願います。



15名 民間企業2名でした。東北大学合格は、気仙沼・登米・栗原地区では岩ヶ崎高校だけの快挙ですし、加えて高等看護学校や公務員の合格率も他校の追随を許さないものでした。先生方は、岩ヶ崎高校の生徒達の可能性を存分に引き出してきています。今後これに満足せず、益々生徒達を伸ばしてあげたいと思います。

今後も東京同窓会の皆様のご協力とご支援を賜りながら、岩ヶ崎高校をますます発展させていきたいと考えております。

最後になりましたが、同窓会の皆様のご健勝と東京岩高会のご活躍をお祈り申し上げ、挨拶いたします。



## 本校近況（生徒代表）



後藤 瑠羽  
生徒会副会長

身も心も小さく、大きな期待と不安を抱えながら臨んだ入学式。それからもう早二年が経ちました。学校生活にも慣れ、最高学年として岩ヶ崎高校の伝統を引き継ぐ年になり、私たち生徒会は様々なことに取り組んでいます。

先日、対面式と新入生オリエンテーションが行われました。今年は、体育館の解体工事が行われており、みちのく伝創館に移動しての対面式でした。対面式では新入生がステージに登壇し、一人ひとり自己紹介をします。自己紹介の後には上級生からの質問コーナーがあります。上級生は新入生を盛大に迎え入れようとたくさんの練習を重ね、面白い発表を準備しており、毎年大変盛り上がりを見せます。新入生オリエンテーションでは部活動紹介があり、各部活動凝った発表を準備しアピールしました。新入生にとって、これらの行事で岩ヶ崎高校の印象が決まるのではないかと、このほど内容の濃い行事です。

ります。生徒総会は岩ヶ崎高校の現状を皆で話し合い、より良いものにしていくという大事な会です。そして支部総体では、各部活動がこれまで毎日一生懸命に取り組んだ成果を精一杯発揮できるよう頑張っています。

生徒会の日々の活動の一つとして、毎朝の挨拶運動を行っています。挨拶を交わすことは生涯にわたり大事なことなので、生徒会で全校生徒が挨拶をしてくれるように頑張っています。また、今年の冬は雪かきも行いました。毎朝岩高生が安全に登校できるよう努めました。朝というのは学校の始まりです。気持ちよく一日がスタートできるよう、生徒会で心がけています。一方で、今年岩ヶ崎高校に入学した新入生は53名でした。この生徒数の減少という問題に対し、中学生への呼びかけやアピール方法などを考え、取り組んでいきたいと考えています。来年度の入学者数が増加するように、今年1年頑張っていきます。

最後に岩ヶ崎高校に入学して2年が経った今、改めて入学して良かったと実感しています。地域の方々や同窓生の支えがあつてこそ岩ヶ崎高校です。岩高生一同、生徒会を中心に、岩ヶ崎高校をさらに盛り上げていけるよう、頑張っていきます。



球技大会



強歩大会



サッカー部(支部総体)



バレー部(支部総体)



野球部(春季大会)



岩高祭



支部総体壮行式



入学式



校歌練習



生徒会総会



# 第61回東京岩高会総会開催される

第61回東京岩高会総会は秋晴れの  
中、平成29年11月25日(土)午前11時、  
上野公園グリーンパークにて開催さ  
れ、同窓生と来賓総勢80名の出席を  
頂きました。

築館高校、迫桜高校からは昨年に引  
き続き関係者の出席を頂きました。  
総会はS.48年卒 千葉正宏副支部  
長の司会で始まりました。

開会の辞はS.36年卒 加藤旭孝幹  
事の開会宣言に続き、支部長の長沼の  
挨拶で総会の幕を開きました。挨拶で  
はS.45年卒 後藤仁様から茨城の焼

き芋、S.47年卒加藤洋様が代表取締  
役を務める「くりこま高原ファーム」  
のお米が出席者全員に提供があつた  
旨の報告を行いました。お米の包装に  
は母校旧校舎が写し出されているこ  
とも併せて報告しました。

ご来賓を代表して葛岡重利会長、高  
橋清志仙台支部長からご挨拶を頂き  
ました。吉田玲子学校長のご挨拶の後、  
10月に行われた岩高の強歩大会がミ  
ヤギテレビに取り上げられたDVD  
の放映があり、本校の生徒の様子を見  
ることができました。

議事進行はS.46年卒 浅野弘巳幹  
事が議長に選出された後、各担当幹事  
から活動報告や会計報告並びに次年  
度の計画案が発表され、満場一致で採  
択・承認されました。

引き続き、傘寿を迎えるS.31年卒  
菅原一様からの乾杯で懇談が始まり  
ました。

今年の特別プログラムは、S.51年  
卒 古館芳子様、津軽三味線の大家 澤  
田勝仁様による民謡三味線による共  
演が行われました。

澤田勝仁様は日本、海外公演など幅

広くご活躍中で、歌手の長山洋子さん  
の専属伴奏者でもあり、古館芳子様の  
三味線の師匠が澤田勝仁さんである  
ことから、共演が実現しました。

はじめに、澤田勝仁様による「津軽  
じょんがら三段」の三味線演奏が行わ  
れ、続いて、古館芳子様による「さん  
さ時雨」、栗原より出席頂いた芳賀康  
雄様(S.37年卒)はアカペラで長持  
唄、浅野和優様(S.48年卒)の「文字  
甚句」では、佐藤てる子同窓会副会長  
(S.43年卒)が舞い、澤田勝仁様によ  
る地元の民謡を、最後は出席者全員に  
よる「大漁唄いこみ」を熱唱、民謡ワ  
ールド一色となりました。

80歳／傘寿(S.31年卒)・70歳／古

希(S.41年卒)・60歳／還暦(S.51  
年卒)の節目を迎えた出席の同窓生に  
は亀戸天神のお札が贈られました。

出席者の近況報告では、今年も多い  
に沸きました。H.27年卒 小野寺和  
樹君、小野寺森人君の3年連続の出席  
は会としても嬉しい限りです。

最後は、出席者が腕を組み合い「高  
校3年生」「ふるさと」を歌い、山本  
信子幹事リードで「フレーフレー岩  
高」と校歌斉唱を行い大歓喜の渦が巻  
き起こった会となりました。

閉会の辞は菅原由美子副支部長によ  
る、辞でお開きとなりました。

(記・長沼和秋)



左:後藤仁様からの茨城焼き芋、  
右:加藤洋様からのくりこま高原ファームお米



## 第61回 総会写真集

今回はあなたの笑顔と出会いましょう。





| No. | 号 | 年  | 氏名      | No. | 号 | 年  | 氏名     | No. | 号 | 年  | 氏名    | No. | 号 | 年  | 氏名    |
|-----|---|----|---------|-----|---|----|--------|-----|---|----|-------|-----|---|----|-------|
| 1   |   |    | 賛助 齋藤君代 | 37  | S | 34 | 横川朝治   | 73  | S | 37 | 武田桂子  | 109 | S | 46 | 山本信子  |
| 2   |   |    | 迫桜 菅原久雄 | 38  | S | 34 | 清田泰子   | 74  | S | 37 | 太宰東臣  | 110 | S | 47 | 菅原修悦  |
| 3   |   |    | 築高 佐藤澄隆 | 39  | S | 35 | 鎌田正聰   | 75  | S | 37 | 千葉昭一  | 111 | S | 47 | 和久充   |
| 4   |   |    | 宮城 岡崎智徳 | 40  | S | 35 | 小柳典子   | 76  | S | 37 | 津田久子  | 112 | S | 48 | 浅野和優  |
| 5   |   |    | 宮城 高橋義典 | 41  | S | 35 | 菅原幸二   | 77  | S | 37 | 安川ムチ子 | 113 | S | 48 | 石野久恵  |
| 6   |   |    | 宮城 滝上島雄 | 42  | S | 35 | 須田和恵   | 78  | S | 37 | 結城家寿子 | 114 | S | 48 | 岩崎哲雄  |
| 7   |   |    | 宮城 飯田正量 | 43  | S | 35 | 高橋嘉紀   | 79  | S | 37 | 吉川とみ子 | 115 | S | 48 | 宇佐美弘子 |
| 8   |   |    | 宮城 芳賀康雄 | 44  | S | 35 | 内藤利雄   | 80  | S | 37 | 吉野久子  | 116 | S | 48 | 梶本啓   |
| 9   |   |    | 宮城 飯田伸雄 | 45  | S | 36 | 大内敏彦   | 81  | S | 38 | 大関信輔  | 117 | S | 48 | 栗原武   |
| 10  |   |    | 宮城 後藤仁  | 46  | S | 36 | 大久保信子  | 82  | S | 38 | 佐藤次雄  | 118 | S | 48 | 澤田由紀子 |
| 11  |   |    | 宮城 渋谷力  | 47  | S | 36 | 小畑丈夫   | 83  | S | 38 | 只野和夫  | 119 | S | 48 | 高橋洋   |
| 12  |   |    | 宮城 高村浩子 | 48  | S | 36 | 加藤旭孝   | 84  | S | 38 | 二川陽子  | 120 | S | 48 | 千葉繁典  |
| 13  |   |    | 宮城 岩本定美 | 49  | S | 36 | 久保田信子  | 85  | S | 39 | 岩渕和夫  | 121 | S | 48 | 千葉正宏  |
| 14  | S | 26 | 伊藤七郎    | 50  | S | 36 | 佐々木芳勝  | 86  | S | 39 | 佐々木元子 | 122 | S | 48 | 本田みき子 |
| 15  | S | 26 | 小野寺喜美夫  | 51  | S | 36 | 佐々木稔   | 87  | S | 40 | 小山ハルミ | 123 | S | 48 | 密島眞夫  |
| 16  | S | 26 | 亀井栄利    | 52  | S | 36 | 菅原富夫   | 88  | S | 40 | 桑原盛一  | 124 | S | 49 | 熊谷ふじえ |
| 17  | S | 26 | 佐竹章     | 53  | S | 36 | 曾根明    | 89  | S | 40 | 佐藤正喜  | 125 | S | 49 | 菅原由美子 |
| 18  | S | 28 | 伊藤末治郎   | 54  | S | 36 | 奈須野栄子  | 90  | S | 40 | 高橋節郎  | 126 | S | 49 | 畠山純子  |
| 19  | S | 28 | 及川博子    | 55  | S | 36 | 袋幸男    | 91  | S | 41 | 蘇武巖   | 127 | S | 49 | 松田清子  |
| 20  | S | 28 | 小野寺美代子  | 56  | S | 36 | 穂積宏哉   | 92  | S | 41 | 鈴木仙次郎 | 128 | S | 49 | 渡部由利子 |
| 21  | S | 28 | 高橋昭三    | 57  | S | 36 | 渡部朋子   | 93  | S | 42 | 小川晶平  | 129 | S | 49 | 真下由利恵 |
| 22  | S | 28 | 吉野玲子    | 58  | S | 37 | 阿部長生   | 94  | S | 42 | 河合礼子  | 130 | S | 50 | 熊谷純一  |
| 23  | S | 29 | 鎌田匡之    | 59  | S | 37 | 伊藤克侑   | 95  | S | 42 | 佐藤美喜子 | 131 | S | 50 | 菅原俊雄  |
| 24  | S | 29 | 藤代實     | 60  | S | 37 | 及川勝美   | 96  | S | 42 | 高橋秀男  | 132 | S | 51 | 千葉博   |
| 25  | S | 30 | 菅原正八    | 61  | S | 37 | 木下峰子   | 97  | S | 42 | 千葉健二  | 133 | S | 51 | 古舘芳子  |
| 26  | S | 30 | 高橋次夫    | 62  | S | 37 | 熊谷栄子   | 98  | S | 42 | 宮本洋子  | 134 | S | 52 | 菅原節子  |
| 27  | S | 31 | 菅原一     | 63  | S | 37 | 栗原しげ子  | 99  | S | 43 | 四倉けい子 | 135 | S | 52 | 高橋聖   |
| 28  | S | 32 | 鈴木俊之    | 64  | S | 37 | 佐々木くに子 | 100 | S | 44 | 伊藤税   | 136 | S | 52 | 千葉進   |
| 29  | S | 32 | 高橋東三    | 65  | S | 37 | 真保清美   | 101 | S | 44 | 佐々木敏行 | 137 | S | 52 | 星光男   |
| 30  | S | 32 | 西島栄子    | 66  | S | 37 | 菅原武人   | 102 | S | 44 | 山本伸一  | 138 | S | 52 | 菅原一郎  |
| 31  | S | 33 | 木名瀬五百子  | 67  | S | 37 | 菅原三千男  | 103 | S | 45 | 伊藤初雄  | 139 | S | 53 | 高橋良哉  |
| 32  | S | 33 | 袋康男     | 68  | S | 37 | 菅原進    | 104 | S | 46 | 浅野弘巳  | 140 | S | 53 | 長沼和秋  |
| 33  | S | 34 | 石井紀子    | 69  | S | 37 | 鈴木晃    | 105 | S | 46 | 伊藤光男  | 141 | S | 53 | 山口真貴  |
| 34  | S | 34 | 小林たか子   | 70  | S | 37 | 須田陽子   | 106 | S | 46 | 佐藤猛   | 142 | S | 54 | 佐藤隆仁  |
| 35  | S | 34 | 四ノ宮信男   | 71  | S | 37 | 高橋勝彦   | 107 | S | 46 | 菅原正雄  | 143 | S | 56 | 阿部豊   |
| 36  | S | 34 | 千葉辰夫    | 72  | S | 37 | 高橋道彦   | 108 | S | 46 | 長瀬真一  | 144 | H | 1  | 武内里恵  |

敬称略

東京岩高会は、皆様方のご理解・ご支援のもとで支えられています。  
これからもよろしくお願い申し上げます。

東京岩高会役員 一同

会計報告

| (平成28年11月1日から平成29年10月31日) 単位：円 |           |          |           |
|--------------------------------|-----------|----------|-----------|
| 収入の部                           |           | 支出の部     |           |
| 項目                             | 金額        | 項目       | 金額        |
| 前期繰越金                          | 211,468   | 総会費用     | 794,265   |
| 年会費(144名)                      | 572,370   | 新年会費用    | 90,000    |
| 総会会費                           | 610,100   | 慶弔費      | 3,990     |
| 新年会費                           | 58,000    | 事務用品費    | 21,782    |
| 暑気払会費                          | 64,000    | 旅費交通費    | 0         |
| ご祝儀                            | 130,000   | 会議費      | 85,667    |
| 助成金                            | 150,000   | 通信運搬費    | 33,655    |
| 広告料                            | 20,000    | 会報費      | 444,698   |
| 雑収入                            | 0         | 暑気払会費    | 102,020   |
| 利子                             | 5         | 年会費手数料   | 10,690    |
| 事業基金                           | 5,000     | 手数料      | 1,633     |
| 60周年事業剰余金                      | 418,318   | 本部等総会参加費 | 212,176   |
|                                |           | 母校関連事業費用 | 100,000   |
|                                |           | 功労者費用    | 49,918    |
|                                |           | 次年度繰越金   | 288,767   |
| 計                              | 2,239,261 | 計        | 2,239,261 |

平成30年度予算案

| (平成29年11月1日から平成30年10月31日) 単位：円 |           |          |           |
|--------------------------------|-----------|----------|-----------|
| 収入の部                           |           | 支出の部     |           |
| 項目                             | 金額        | 項目       | 金額        |
| 前期繰越金                          | 288,767   | 総会費用     | 750,000   |
| 助成金 本部                         | 150,000   | 新年会費用    | 90,000    |
| 年会費                            | 600,000   | 暑気払会費用   | 100,000   |
| 総会会費                           | 620,000   | 会報費      | 440,000   |
| 新年会費                           | 60,000    | 通信運搬費    | 35,000    |
| 暑気払会費                          | 70,000    | 慶弔費      | 10,000    |
| 広告料                            | 80,000    | 事務用品費    | 25,000    |
|                                |           | 年会費手数料   | 11,000    |
|                                |           | 会議費      | 85,000    |
|                                |           | 本部等総会参加費 | 175,000   |
|                                |           | 予備費      | 147,767   |
| 計                              | 1,868,767 | 計        | 1,868,767 |

年会費ご協力者・収支





同胞の皆様方へ この日の私達の  
姿を 笑顔をお届けします。



湧き出る笑顔の泉 岩高家族

第61回東京岩高会総会

本総会には岩高同窓生のほか、迫桜高校、築館高校の卒業生の皆様方 総勢 80 名のご出席を頂きました。  
(平成 29 年 11 月 25 日 上野公園西郷銅像前階段にて)



# 岡崎智徳さんを偲んで



杉 利雄  
元岩ヶ崎高校 教諭  
仙台在住

昨年10月末のある夜、東京在住の佐々木くに子さんから突然電話で岡崎先生死去の知らせを得た。しばらく前、岡崎先生のことになり電話したら、電話口に出て、「やあー杉先生、最近、足腰が弱って、自由に動き回ることができなくなっただ」と話をしていたが、訃報には大変驚いた。岡崎先生と私との出会いは、私が新任教員として昭和33年4月岩ヶ崎高等学校赴任の時です。先生は大学の先輩でもあり、兄のような存在で新任の私を温かく迎え入れてくれた。2年目の4月、岡崎先生が新入生A組、私がB組の担任を任せられた。全く未経験の世界で五里霧中にある私に、教師の基本となるクラス担任としての仕事や心構えを懇切丁寧に教えてくれた。「杉先生、杉先生、あのな、そんなこと言っては駄目っしょ」などと、分厚いメガネの奥に目を細め、「うふ、うふ」と笑みを浮かべながらいろいろ指導してくれた。岡崎先生は信念を持って行動する人、勇気のある他人に優しい人で、私達若手数人の教師の中心的な存在となつて、いつも先頭に立ち明るく導いてくれた。先生は、岩ヶ崎高校13代目の校長として再度岩高に赴任し「岩高ルネッサンス」の旗を掲げ、情熱をもって岩高の発展に尽力され、岩高史を飾る人だったと思う。先生を偲び、ご冥福をお祈りしつつ。合掌



前列左から：高橋猪一郎先生、菅原亀悦先生  
後列左から：岡崎智徳先生、杉利雄先生、  
秋元寛之先生、高橋亮一先生



佐々木 くに子  
S.37年卒  
東京在住

岡崎先生の岩高思いには格別なものを感じておりました。東京岩高会創立60周年会報(第58号)に御自身の記事が掲載されており貴重なご遺稿となりました。「小生加齢と共に身体各部故障だらけです」と数年前よりお聞きしておりましたが、無理を聞いていただいたのです。「眼鏡に大きな天眼鏡を付けて書いたから」と言い添えて病床から送つて来られました。私が同窓会活動に携わるようになり教え子の一人として温かい言葉で背中を押して下さいました。「立派な会報です。知っています。何度も読み返してます」「同窓会として類を見ないほど内容に富んでいる。編集がなかなか



平成4年5月23日 みづな会30周年同級会にて新高輪プリンスホテルにてA組と担任



平成4年5月23日 みづな会30周年同級会にて新高輪プリンスホテルにてA組と担任



千葉 宏・妙子  
S.37年卒  
栗原市鳥沢在住

岡崎先生は昭和29年岩ヶ崎高校が新任地でした。昭和37年卒A組の私達は、その1年生から3年生までクラス替えすることなく3年間担任をしていただきました。これは非常に稀なことだと後に知ることが出来ました。時が過ぎ、卒業して25年が経ち、岡崎先生は再び岩高に校長先生として戻って来られました。勿論S.37年卒の宮城県在住の地元組は集まり歓迎いたしました。校長の岡崎先生は自らが指揮を執り、岩高の再生を図ろうと「岩高ルネッ



昭和62年4月 校長として着任 歓迎パーティーにて

す。天候や病害虫、野性動物、その他いろいろな障害で出来不出来もありますが、来年こそは納得の成果をと、夢を持たせてくれる先生に心からの感謝と希望で続けることが出来ました。長い間ありがとうございました。安らかにお休みください。

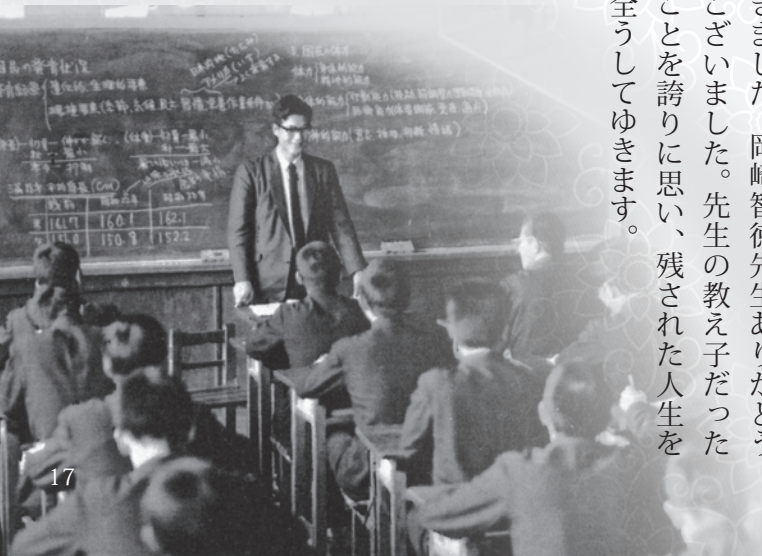


佐藤 貢  
S.37年卒  
栗原市岩ヶ崎在住

情熱的でとても温かみのあるロマンチストな先生で、生徒を我が子のように愛し、励まし支えてくれました。昭和37年卒業し栗原電鉄に入社した私は次第に時代の波に翻弄されていきました。襲いかかる試験のたびに「ここで負けたら先生に合わせ顔がない」そう自分に言い聞かせることで頑張ることが出来ました。そして今も。昭和62年4月、校長として再び岩ヶ崎高等学校の門をくぐられるとは思っても寄らなかつたことです。お住まいが学校の近くでもあり足しげく通いました。時々車でスケッチのお供、時々家庭料理の差し入れ、時々お酒のお相手を。伝わってくるのはいつも先生の温もり。つい長居してしまう。

栗駒山の写真を撮り続けていた私は、岡崎先生と一緒に写真集の出版の思いが募り、紆余曲折の中、平成2年「栗駒山讃歌」写真集を発刊、岡崎先生の文「栗駒山の自然をいつまでも」を載せていただくことが出来ました。平成25年6月栗原文化会

館にて「栗駒山讃歌」と題して個展を開催。岡崎先生から「胡蝶蘭の大鉢」が贈られてきた時、思わず目頭が熱くなり唇を噛みしめた。もう一度岡崎先生と一緒に写真集を出そうと決意しました。それから4年の歳月を経て平成29年6月、全力を出し切る形で写真集を完成させることが出来ました。題して「栗駒讃歌 大自然の息吹き」。岡崎先生は完成した私の写真集を、病床で食い入るように見つめ、「貢 頑張ったなあ」と話してくれたという。出版してよかった。万感胸にせまる感動を覚えました。平成29年10月24日訃報が届きました。岡崎智徳先生ありがとうございました。先生の教え子だったことを誇りに思い、残された人生を全うしてゆきます。







小野 好延

S.37年卒  
大阪在住

中学校へ通う道の途中たまに連れ立って歩く仲睦まじそうなお夫婦を見掛けることがあり、小柄な奥さんがとても可愛いらしい人だなあと思っていました。岩高に入学してクラス担任になったのがそのご夫婦の旦那さん岡崎先生でした。新任から5年目で生物教師として又柔道部の顧問としての先生業にも慣れ、結婚をされたばかりで大変意気充滿の頃だったろうと思います。それから3年間卒業するまで担任としてお世話になりました。1年生の中頃進学か就職かコースを選ぶ時には迷う私を励まして進学コースを薦めてくれ、3年になっていよいよ受験時期になった時には、まず仙台で公務員となつて勤務しながら夜間大学へ通うという安全弁を確保し、その後の大学受験を心おきなく戦えるようにしていただきました。おかげさまで入学金・学費免除という制度のある大学に合格でき京都で4年間の充実した楽しい学生生活を送ることができ

ました。京都から帰省する時に安い学割で東北一周や本州周遊などをして旅を楽しんだり、大学や寮で外国人と交流するうちに、真面目に働くばかりの日本人をもっと楽しませたいと思うようになり、当時勃興してきた旅行業に入り日本人の海外旅行の発展と共に世界中を旅することになりました。こんな素晴らしい人生の探緒を着けてくれた岡崎先生はあのこに顔でいつも見守ってくれていると感じています。



芳賀 康雄

S.37年卒  
第8代同窓会 会長  
栗原市栗駒在住

私の高校入学当時中卒者は「金の卵」といわれ、就職引手あまたの時代でした。集団就職の同級生の見送りに学校に行き、合格を知りました。そして4月、晴れて入学。校舎2階東端の幾分大きな教室で高校生活の第1歩が始まったのでした。担任は岡崎先生でした。3年間変わらずの担任でした。

授業は生物、学校付近を散策しながら、草花の名前を教わった野外授業も楽しかった記憶として残っております。これが「ゆとりの授業」だった思っております。

岡崎先生は我々にはほとんど手と手を焼いたことと思います。それでも3年間情熱をもってご指導いただいたことに感謝の念いっぱいです。

「1組は岡崎先生でなければ」と3年間持ち上がりで担任していただきました。だからこそ、「岡崎先生、岡崎先生」と慕い焦がれているので



はないのでしょうか。昭和62年4月岩ヶ崎高校第13代校長として赴任され、在任2年間「岩高ルネサンス」を唱え、岩高を県北随一の進学校に育て上げていただきました。

先生のスケッチの素晴らしかったこと、感嘆しております。スケッチが添えられた年賀状毎年楽しみにしておりました。今年からは寂しくなりました。でも先生のあの優しかった声、姿は私の記憶から消え去ることなくこれからも生き続けてゆきます。岡崎先生との出会いが最高の高校生活であり、今の自分があるという気持ちでいっぱいです。

## お花見と称して



吉野 玲子

S.28年卒  
岩ヶ崎出身  
東京都在住

4月18日お花見と称して高校の両親友、池田きみ子さん、伊藤弘子さん、そして遠藤久子さんと上野駅で待ち合せをしました。小雨の降るなか遠方から来てくださることに感謝。そこは気心の知れた仲、会えばみなさんの顔は自然に満面の笑み、私はこの笑顔が見たい為に集まってもらったのです。私たちの世代は「だれが見ているかわからないから、きちんとした格好で出かけなさい」と言われたものです。そんな同級生ですから、薄化粧に控えめな赤い口紅、それぞれお似合いのお洋服「何歳になつてもステキ」な様相で女優のごとくゆつくりと不忍池近くの料理屋に向いました。

お花見と言つても上野公園は桜花爛漫を終え葉桜の緑一色。料理屋に着くと、そこは互いの心の底を打ち明けて話すことができる間柄、残念

ながら先に逝かれた方の思い出話、かわいい孫の話など、個人情報なので詳しくは書けませんが、このまま時間制限が無ければ3日以上は話続けて行けるくらいの勢いでした。これからも、機会があればまた集まり80歳を超えても『老当益壮』でいることを誓いました。帰りには私の心と同じく天気も良くなり笑顔の絶えない楽しい時間を過ごしました。本当にここに集まってくれてありがとう。

実は先日、私が横断歩道を渡るうと信号待ちをしている時、横から走って来た自転車にはね飛ばされ、気がついたときには救急車で病院に運ばれていました。MRIなどの検査の結果、頭や骨には異常が無かったものの、今まで駅のエスカレーターやエレベーターを使わず階段を利用するほどだったのに、事故で打った腰が痛く、歩くことが不自由になり、もう以前のように歩けないのではと落ち込みました。このお花見会は痛み止めを飲みながらも、やっとなんか出てくるようになった時のことです。

集まってくれた友人はあらゆる局面で助けになり慰めになり励みにもなる、なによりも人生そのものを豊かにしてくれます。会うたびに今度はどうな楽しいことが待っているだろうと胸がワクワクしてきます。そしてみんなと話、笑ううちに私のクヨクヨしていた心が消え、また前を向いて歩き始めようと思えたのです。



サインボード・サインシステム



株式会社アルテ

会長 吉野 玲子 (岩ヶ崎)

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5丁目30番9-403

TEL 03(6806)5069

〔2016年  
大宮(植竹)工場新設〕





# 鶯沢校舎ありがとう！

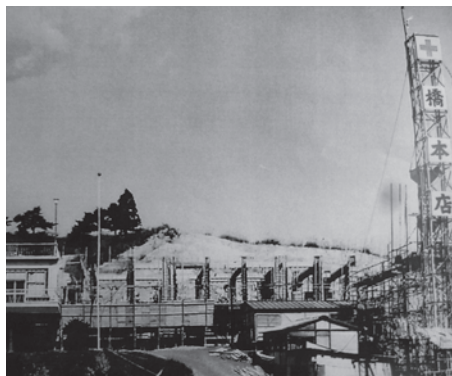
旧鶯沢工業高校は、栗原地区の工業高校として多くの技術を習得した生徒を輩出してきましたが、生徒数の減少で岩ヶ崎高校に平成21年（2009年）に編入され、創造工学科が設立、その後も生徒数は伸びず、惜しまれながら今年の3月に閉校となりました。

昭和31年（1956年）岩ヶ崎高校の鶯沢分校として設立し、昭和44年（1969年）には鶯沢工業高校として独立、岩ヶ崎高校とは兄弟校として歩んできました。

62年の歴史に感謝！ ありがとうございました。



開設当初の教室は民家の作業場



校舎の建設時、多くの地元の方の協力がありました



## 古在国立天文台長さんが来た話



伊藤 芳春  
第22代学校長  
(H.22/4～H.24/3)

古在由秀先生こざいよしひでといえば、ハワイのすばる望遠鏡を建設した国立天文台長として有名ですが、気さくでユーモアがあり、星好きに人気のある先生です。戦後東大を卒業して間もなく、アメリカがロケットを打ち上げる時、人工衛星の軌道を計算ができる天文学者としてハーバード大学に招かれ「コザイの式」や「古在共鳴」という画期的な業績を上げました。勲二等瑞宝章を受け文化功労者でもあります。

近年、生活が便利になるにしたがい屋外照明が増え、星々が見えにくくなっています。そこで夜空の明るさを測定するため「夜空メーター」という測定器を開発し、鶯沢工業高生に多数製作してもらいました。これを使い夜空の明るさに関心のある全国の方々に利用してもらいました。宮城教育大の学生も鶯沢工業高に来て製作し卒論を書いています。これらの活動をノーベル賞の小柴昌俊氏が創設した科学教育賞に応募したとこ



平成23年1月18日 古在先生と一緒に

ろ、一次審査を通過し二次審査（現地調査）を受けることになりました。審査員として1月18日に新幹線でくりこま高原駅に降り、そしてタクシーに乗り継い

で来ていただいたのが古在先生でした。（写真）先生は製作した生徒から話を聞き、また日々の活動を励ましてくださいました。2月14日二次審査結果の通知が届き、「製作、測定、他の教育機関への普及などを高く評価しましたが、惜しくも入選には至りませんでした」という内容でした。結果は残念でしたが、古在先生にわざわざ来ていただき生徒に話をしていたことには感謝の気持ちでいっぱいです。この後、3月2日には鶯沢工業高校閉校式が行われ創造工学科へ引き継がれました。そして3月11日には東日本大震災と様々なことがあった平成23年でした。



岩ヶ崎高と北天の星の日周運動





# 「栗駒山の里便り」ワールド 「山の駅くりこま」開業



土井 祐之  
S.54年卒  
栗原市鳥矢崎在住

東京岩高会のみなさん、お元気にお過ごしでしょうか。

地元栗原市の今年の冬は、近年になかった寒さが続く冬で、凍えそうな思いをしましたが、3月になると一変して暖かい日が続き、桜の開花も記録的な速さで咲くという、おかしな季節になっています。

そんな中、岩ヶ崎の街の中心でありながら長い間空き地となっていました、旧栗駒町の役場・体育館・公民館跡に地元商店や農家が待ち望んでいた地場産品直売所が、この4月20日に「山の駅くりこま」としてオープンしました。

直売所と広い駐車場を完備し、多くのお客さん呼び込める体制になっています。広い駐車場ではイベントも開催できそうです。

これまでは、栗駒山の登山や紅葉見物、山車まつり、近年人気になってきました商家のひな祭りに来ていただいたみなさんに栗駒の名物はどんなものがあるの、どこに行ったら買えるのという質問を幾度となくいただき、その都度細かく説明するのに苦慮していましたが、これからは、「山の駅に行くとなんでもそろっているよ」と答えることができるようになりました。

さて店の中をのぞいてみると、栗駒・栗原市特産の季節の野菜がまず目につきます。5月初め、新鮮なウドやワラビ、竹の子などの山菜も加え、青物野菜や色鮮やかなパプリカなどがたくさん並んでいましたよ。

地元の皆さんにはおなじみの銘菓や加工食品、漬物、味噌、リンゴや、これからの季節出てくるでしょうイチゴやトマトなどの野菜や果物が楽しみです。

栗原にはこんなにいいものが有ったんだと観光客の皆さんに気付いてもらえて、末永く買っていただけといういいですね。

栗駒の伝統工芸品、文字千葉家に代々伝わる正藍冷染めの布を使った手ぬぐいハンカチ、財布なども販売しています。築館の陶芸家、遊翠窯の遊佐将彦氏の器もあります。知ってるつもり栗駒・栗原の名産品、まだまだ



知らないものだらけでした。どうぞみなさん、帰郷の際にはぜひお立ち寄りください。少しづつ変わって行く岩ヶ崎の街をご覧ください。

◎本号内に掲載の地元の写真及び自然の写真正は土井祐之さんによるものです。御礼申し上げます。



「みやぎの環境にやさしい農産物」認証

# くりこま高原米

栗駒山の清流で育まれ 食味最高

農業生産法人 有限会社くりこま高原ファーム

〒989-5341 宮城県栗原市栗駒稲屋敷大尻6番地

TEL0228-45-2893 FAX0228-45-5425

卒業生：S47加藤洋、S52岩淵功、S53五十嵐功、S55五十嵐晃、S58工藤勝枝、H9糟川亮、H18加藤圭

宮城・栗駒産 ひとめぼれ

ぼくらが地球を応援。

URL <http://kougenfarm.jp/>

<ISO14000:2004 取得>

— 環境に思いやり —

金属スクラップ・リサイクル

# 株式会社 ハガ

栗原市栗駒中野田町西150

TEL0228-45-3421 FAX45-5300

↑ 栗原田町にある広大な敷地と工場全景  
代表：芳賀 恭 (S.46年卒・岩ヶ崎出身)



## キャプリス『Caprice』

キャプリスは、10年前に宮本洋子さん(S.42年卒)が八丁堀に開いたお店で、シェフは息子さんの勝徳さん。メニューは洋食創作料理、昼のランチプレートから、夜は単品だけでなくコース料理まで楽しめ、鰹のタルタル、しめた鯖のバルサミコ酢、豚バラを柔らかく煮込みあげたもの、ベーコンや野菜のグラタン、手作りのピザ、メインはお肉かお魚から選ぶことができます。ボリュームもありリーズナブルです。シェフの勝徳さんの銀座中学校の恩師は、46年卒の鈴木富樹さんだったとか。



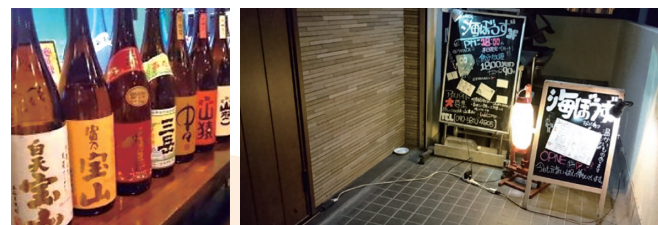
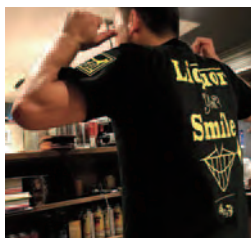
## 岩高 繋がり広場

同窓生が行っているお店です。是非足を運んで頂き、ふるさとの繋がりの場となれば嬉しいです！

東京都中央区八丁堀2-10-3  
03-3553-5388  
最寄駅：東京メトロ 八丁堀駅5分、  
JR東京駅20分  
営業時間：月～金曜日 11:30～14:00、  
17:30～22:00  
土曜日17:30～22:00  
定休日：日曜日・祝日

## 「和風酒場 海ぼうず」

山本信子さん(S.46年卒)の息子さん 直樹さんのお店です。豊富なおつまみメニューと充実のドリンクが楽しめて、海の幸から串焼をはじめとし、リーズナブルなおつまみメニューとこだわり日本酒をはじめとする幅広いドリンクを揃えており、楽しめる居心地のいい居酒屋です。店内貸切りや席貸切りもできますので歓送迎会や同窓会などさまざまなご宴会でご利用できます。閉店時間は遅くまでなので、とことん飲み明かしたい方は是非訪ねてみてはいかがでしょうか。



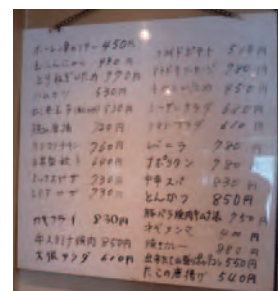
埼玉県吉川市木売2-6-5  
吉川センター酒井ビル 3F  
048-981-3186  
最寄駅：JR 武蔵野線 吉川駅2分  
営業時間：平日 18:00～3:00、  
金土祝前日 18:00～5:00  
定休日：月曜日



## 泉岳寺パブレストラン「いしかわ」

石川明美さん(S.55年卒)とご主人で行っているお店です。

お店の回りはオフィス街で、ランチタイムでは多くのサラリーマンでにぎわっており、600円台のメニューもあるのは嬉しい限り、お店独自のデミグラスソースのハンバーグ、カツカレー、クリームコロッケなどのメニュー、昭和の洋食屋さんを思わせるような雰囲気の中、夕方になるとパブレストランにかわります。「いしかわ」をアナウンスして頂いたのは、近くに勤務されている築館高校の同窓生の方からでした。



東京都港区高輪2-20-26  
セブンスターマンション 1階  
03-3449-2085  
最寄駅：都営浅草線・京急(泉岳寺)駅1分、JR品川駅10分  
営業時間：11:00～13:30、  
17:00～21:00  
定休日：土曜日・日曜日、祝日



ふるさとをまつく語る 右より熱海光顕様、佐藤澄隆様、佐々木くに子顧問、小野寺健様

べると半分になっており、合併以降ここ10年間で1万人減少している状況にある中、いかに地元の魅力を伝え、栗原市に人を呼び寄せることができるかとの話が行われました。現在の栗原市内の状況や市外の高校を目指す生徒がいることなど厳しい中にある一方で、岩ヶ崎には、若い人で街興しで事業を始め出していること、佐々木くに子顧問から、「東京の子供達はどこか不安を抱えた目をしているが、田舎の子供

達の目は輝いている。」との話もありました。最後に在京宮城ふるさと協議会の小野寺喜美夫会長(東京岩高会顧問)より、栗原市の活性化を語るには、市の担当の方にも是非参加して頂いてはどうかとの提言がありました。引き続き懇親会が始まり、その後各高の紹介とスピーチ、お楽しみ抽選会があり、和やかな内に会が終了、次回は、沢山の方々のお越しをお待ちしております。(記・長沼和秋)

## 4校会 クリスマスパーティ

12月24日(日)上野グリーンパークにて、築館高校、迫桜高校、一迫商業高校、岩ヶ崎高校の4校合同によるクリスマスパーティが行われました。昨年築館高校東京支部 熱海光顕顧問が発起人となり始まった会で、今年で2回目となります。出席者は42名、懇親会に先立ち、地元で教べんとられた佐藤澄隆様、小野寺健様、都内の幼稚園に勤務された佐々木くに子顧問による「人口減少が続く栗原市の現状と市内4高校に未来はあるか」をテーマとしたフリーストーキングが行われました。現在の栗原市の人口は昭和40年当時と比



築館高校のみなさん



一迫商業高校のみなさん

迫桜高校のみなさん



岩高出席者

## 銀座ライツ法律事務所

弁護士 鎌田 正 聡(尾松出身)

事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目10番9号 KEC 銀座ビル 6階  
TEL 03-3546-0281 FAX 03-3546-0280  
URL <http://www.ginza-rights.jp/index.html>





ITで実現できる  
創造力を生み出すオフィス

 **理工事務機株式会社**

会 長 亀 井 榮 利  
(旧姓・門伝 鶯沢町出身)  
代表取締役 亀 井 賢太郎

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-1-14 A&Xビル  
TEL. 03-3293-8955 FAX. 03-3292-0140

<http://www.ricohjimuki.co.jp>



菅原勲会長と栗原市マスコットキャラクター  
「ねじり ほんによ君」

# 東京栗駒会

会長 菅原 勲

鶴ヶ飴 駒ゆべし 季節の和菓子

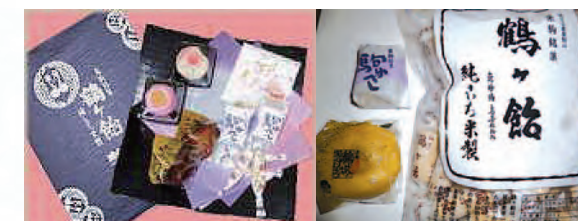


**岡本老舗**

宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎六日町 38

☎ (FAX) 0228 (45) 1052

代表：岡本 浩一 昭和53年卒 岩ヶ崎出身



グリーンパーク 旦妃楼飯店  
住 所：東京都台東区上野公園1-59  
電 話：03-3828-5571

創作中国料理

**旦妃楼飯店**



新しい風、上野へ。

本場上海から、話題の美食先進スタイル上陸！

中国伝統料理に、フレンチ、イタリアン、和食、薬膳などのテイストや  
いままでにない発想を取り入れた、新感覚の中国料理 ヌーベル・シノワ。